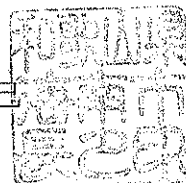




海都士第 61-1 号
平成19年4月25日

国土交通省道路局長殿

海南市長 神出 政巳



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について (回答)

このことについて、平成19年4月2日付け、国道企第114号をもってご依頼の件について、別紙のとおり回答いたしますので、よろしくお願い申し上げます。

中期的な計画作成に係る意見について ―― 海南市 ――

本市の広域的な幹線道路には、湾岸沿いを南北に縦断する国道42号、阪和自動車道、東部地域の国道424号、また市域を東西に横断し、世界遺産の霊峰高野山に通ずる国道370号などがあり、この他県道海南金屋線など主要県道3路線と一般県道14路線により市内幹線道路網を形成しております。

海南市では、第1次総合計画策定にあたり、住民アンケート調査を実施し、基本計画の6つの政策目標のひとつとして「都市基盤が整い、快適で住みやすいまち」という項目を掲げ、広域幹線道路網の整備、生活道路の整備改良、公共交通機関の充実を基本施策とし、またその中で国道、県道、高規格道路の整備促進等を重点施策として位置付け、「本市の発展を支える基盤となる幹線道路網が整備され、都市間交流や、産業、経済活動の活性化につながる道路ネットワークが充実しているまち」を目指すことを目標としております。

当市は、平成17年4月1日に旧海南市と旧下津町が合併し、新たな海南市となりましたが、旧市町を結ぶ国道42号は近年の通行車両の増加に伴う慢性的渋滞により両地域の一体化はもとより、地域社会の経済発展、活性化に大きな支障を来しております。また、近い将来必ず発生するであろうと言われております東南海、南海地震では海岸部を通る国道42号は、津波や土砂崩れなどにより寸断されることが予想され、当市以南へは阪和自動車道以外の幹線道路が無いことから、緊急輸送等に重大な支障を来すことが危惧されます。また、当市より和歌山市に至る北進につきましても慢性的な渋滞が発生し、市民生活にも支障を来しております。このことから国道42号の整備促進は喫緊の最重要課題の一つとなっております。

更にこの他、狭隘路線の解消を図るため、平成16年12月24日に都市計画決定された国道370号並びに国道424号バイパス事業の促進、また、隣接他町と整備促進協議会を設立し、トンネル案による整備要望を実施している主要県道海南金屋線の事業促進などにつきましても、本市における最優先課題の一つでありますので、中期的な計画作成にあたりましては、特段のご高配を賜りたくお願い申し上げます。

施策
目標

①-1 交通体系が整備され、日常生活が便利である

基本施策

基本施策 ①-1-1 広域幹線道路網の整備

基本施策 ①-1-2 生活道路の整備・改良

基本施策 ①-1-3 公共交通機関の充実

基本施策 ①-1-1 広域幹線道路網の整備

◆現状と課題

- 日常生活圏の拡大とともに地域間の連携が一層進む中、人と物の動きを支える広域的な幹線道路の重要性がますます高まっています。本市の広域的な幹線道路は、湾岸沿いを南北に縦断する国道42号、市域を東西に横断する370号、東部地域を南北に縦断する国道424号の国道3路線、県道岩出海南線などの主要県道3路線と一般県道14路線があり、それぞれ整備が進められています。
- 国道42号は、慢性的な交通渋滞が大きな課題となっていることから、市民生活の利便性を高めるため、交通渋滞の解消を早期に図る整備を国や県に働きかけていくことが求められています。国道370号は、部分的に狭隘な箇所が残っていることから、バイパスによる新しい道路整備への取り組みが進められており、今後の早期完成が求められています。また、国道424号は、未整備区間が多く、特に木津、沖野々地区周辺は狭隘で民家が密集し、住民生活にも支障をきたしているため、木津バイパスの早期事業化が求められています。
- 県道については、地域の均衡ある発展を推進するため、交通量の増大や生活圏の広域化に応じて、道路拡幅等の整備が進められていますが、今後も、未整備な県道の早期整備を促進する必要があります。
- 近畿自動車道紀勢線については、海南ICより紀南方面へは、現在2車線のため、祝休日の渋滞が課題となっています。現在、海南吉備間の4車線化や近畿自動車道紀勢線の紀南延長事業が進められており、早期完成が望まれています。

◆基本方針

- 広域アクセスとなる高速道路や主要な幹線道路の慢性的な渋滞の解消と交通の円滑化を図るため、国道のバイパス整備や県道の改良・整備を促進します。

◆施策と成果指標

基本施策 ①-1-Ⅱ 広域幹線道路網の整備			
めざすまちの姿	● 国道や県道などの交通渋滞が解消され、周辺市町や高速道路ICへの交通が円滑になり、市民の広域活動が活発化し、利便性が向上している。		
施策の成果指標	指 標	現 状 値	目標(平成23年度)
	● 国道や県道の渋滞が解消されたと感じている市民の割合(%)	26.7% (平成18年度)	35.0%
上記姿を実現するために必要な重点施策・事業			
重点施策	施策概要	重点事業	
①国道の整備促進	● 国道の渋滞解消を図るため、国道42号の海南有田間のバイパス整備、国道370号の阪井バイパスの整備推進、国道424号の木津バイパスの早期事業採択について、関係機関への働きかけを強化するとともに事業の円滑化を推進します。	● 国道42号、国道370号(阪井バイパス)、国道424号の整備事業	
②県道の整備促進	● 渋滞の緩和と交通の安全を確保するため、県道秋月海南線、岩出海南線、海南金屋線、興加茂郷停車場線、海南吉備線、和歌山野上線などの拡幅、改修等の整備を促進します。	● 県道の整備事業	
③高規格道路の整備促進	● 近畿自動車道紀勢線の紀南方面への延伸及び海南吉備間の4車線化事業を促進します。	● 近畿自動車道紀勢線海南吉備間4車線化の促進	

基本計画

目標1



基本施策 ①-1-2 生活道路の整備・改良

◆現状と課題

- 市民の日常生活を支える生活道路は、道路改良事業や土地区画整理事業*の進捗などにより整備が進んできましたが、まだまだ幅員の狭い道路や改良整備が必要な道路が多くあります。新市まちづくり計画においても重点施策として「生活道路の整備」が位置付けられており、これからの重要課題といえます。
- 都市計画道路については、市街地において整備を進めていますが、国の支援状況が変化する中で、整備の有効性や優先性等を検証するなど、都市計画道路の見直しを行い、整備効果の高い都市計画道路を重点的に整備する必要があります。
- 市道については、非常に狭隘な路線が多く、市民の生活道路として、都市計画道路などの幹線道路と組み合わせた利便性の高い道路網の整備や拡幅改良などが求められています。そのため、道路拡幅や改良を中心に更なる整備を進めていくとともに、円滑で安全な通行の確保のため、道路の適切な維持管理が必要となっています。
- 高齢化社会の進展に伴い、誰もが安心して快適な歩行ができるよう、歩道の整備改修など、道路のバリアフリー*も含めたきめ細やかな、多岐にわたる道路整備が求められています。今後は、道路の快適性や安全性の向上など、道路環境の改善に努める必要があります。

◆基本方針

- 生活道路の整備や計画的な維持修繕、改良等を進め、道路の利便性や安全性、快適性の向上を図ります。

◆ 施策と成果指標

基本施策 ①-1-② 生活道路の整備・改良

めざすまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な道路が整備され、円滑に通行することができる。 ● 駅や市役所などの市の中心地への所要時間が短縮され、市民生活の利便性が向上している。 ● 安全性や快適性、景観に配慮した道路環境が整っていることによって、市民が道路を安心して通行している。 		
施策の成果指標	指 標	現 状 値	目 標 (平成23年度)
	● 身近な道路が整備されたと感じている市民の割合 (%)	43.1% (平成18年度)	50.0%
	● 都市計画道路の整備進捗率 (%)	34.0% (平成18年度)	43.4%
	● 市が管理する歩道のバリアフリー化(歩道の段差解消)の割合 (%)	21.1% (平成17年度)	34.5%

上記姿を実現するために必要な重点施策・事業

重点施策	施策概要	重点事業
① 都市計画道路の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市計画マスタープランの策定等を通じて、都市計画道路の整備の有効性、優先性等を検証し、より整備効果の高い都市計画道路を重点的に整備します。 ● 整備を進めている大野中重根線の整備を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 大野中重根線整備事業
② 市道の整備充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 良好な市街地形成及び生活環境の向上を図るため、生活道路である一般市道の整備を進めます。 ● 国道370号の渋滞緩和を目的として整備される阪井バイパスの整備に伴う関連道路の整備を進めます。 ● 都市計画区域*内における土地利用を促進するため、市道認定基準の見直しなど市道の条件整備に取り組みます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 市道新設事業
③ 道路等の維持修繕・改良舗装の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活道路の安全性を確保し、円滑な通行を図るため、市民の生活と密接な関係にある市道の維持修繕や未改良区間の改良、舗装などを推進します。 ● 市道以外の多くの市民が利用する道路の適切な維持補修に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路改良舗装事業 ● 道路等維持補修事業 ● 認定外道路維持補修事業*
④ 快適な道路環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 道路緑化や歩道的美装化、バリアフリー化などを進め、誰もが快適に安心して歩ける歩道の整備を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 歩道整備(バリアフリー化)

基本計画

目標1

重点プラン

2 生活道路の整備

本市の各地域の一体化や利便性の向上を目指し、住民の日常生活に密着した生活道路の整備を促進します。

本市の各地域や、周辺市町との連携・交流を促進するため、国道・県道の渋滞緩和に向けた整備に取り組むとともに、特に、身近な生活道路である市道の計画的な点検・見直しを進め、利便性や緊急度に応じた、舗装、改修、拡幅等の整備を促進し、都市機能と居住環境の向上を図ります。

主な施策

◆国道・県道の整備促進

- 国道42号の渋滞解消を図るため、海南有田間のバイパス整備を促進します。
- 現在事業を進めている国道370号の阪井バイパスの早期整備を促進します。
- 国道424号の木津バイパスの早期事業採択について、関係機関への働きかけを強化します。
- 県道の渋滞の緩和と交通の安全を確保するため、県道の拡幅、改修等の整備を促進します。

◆都市計画道路の整備

- 都市計画道路の整備の有効性、優先性等を検証し、より整備効果の高い都市計画道路を重点的に整備します。

◆市道の整備充実

- 良好な市街地形成及び生活環境の向上を図るため、生活道路である一般市道の計画的な整備を推進します。
- 都市計画区域内における土地利用を促進するため、市道認定基準の見直しなど市道の条件整備に取り組みます。

◆道路等の維持修繕・改良舗装の充実

- 生活道路の安全性を確保し、円滑な通行を図るため、市民の生活と密接な関係にある市道の維持修繕や未改良区間の改良、舗装などを推進します。
- 市道以外の多くの市民が利用する道路の適切な維持補修に努めます。
- 誰もが快適に安心して歩ける歩道の整備など、快適な道路環境づくりを推進します。